

令和4年度 第4回米沢市上下水道事業経営懇談会 報告(要旨)

第4回上下水道事業経営懇談会を開催したので、報告します。

1 日時 令和4年 11 月 10 日(木)14:00～15:40

2 場所 米沢市役所 303 会議室

3 出席委員

遠藤昌敏委員長、長澤譲委員、宮川英子委員、中村和則委員、安部吉弘委員、
岡田堅委員、渡部一雄委員、鈴木愛子委員 以上8名

(欠席:黄木義久副委員長、布施賢治委員、宮坂睦委員、加納正仁委員、小池利行委員)

事務局

上下水道部長、業務課長、水道課長、下水道課長、業務課長補佐、下水道課長補佐、
財務主査、企画主査、工事主査、企画担当主任、工事担当主任

4 会議録

(1)開会(進行:業務課長補佐)

本日の出席状況は、出席者8名、欠席者5名です。米沢市上下水道事業経営懇談会設置
規程第 5 条第 2 項の規定に基づき、委員の半数以上が出席していることから、本日の会議は
成立となります。

(2)事務局紹介

事務局の出席者について紹介した。

(3)委員長挨拶

初めてお会いする方もいらっしゃるかと思いますが、山形大学の遠藤です。

山形大学では、化学を担当しまして、どちらかという、環境とか水質を担当して、講義をしてい
ます。水道の方でも結構長く携わっておりまして、上水道、下水道いずれの方にも、何らかの委員と
して、これまでも携わっておりました。

今回、コロナがこれほど長く続いているとは思っていなかったわけですが、感染が上がったり
下がったり、最近では下がって、大分経済活動も活発になってきているので、喜ばしく思っていたとこ
ろですが、数日、最近ではニュースを見ると、かなりまた感染が増えておりますので、なるべく気をつ
けて、会議を進めたいと思っています。

それと、夏に線状降水帯で米沢がっていうのが、非常に驚いてですね、日本全国各地から自分
のところにも連絡いっぱい来まして。米沢は上流の方で、下流の方が非常に被害大きかったのも、
水が多いほうがいいなんてことは、以前ちょっと言ったんですけども、最近では言えなくなってる環境に

なってるなと思っています。

それでは、暫時の間、議長をさせていただきますので、よろしくお願いします。

(4)懇談会(議長:遠藤委員長)

ア 事務局挨拶

上下水道部長より、以下の項目について発言があった。

(全文については、別添会議資料を参照してください)

水道事業

- ① 物価高騰に対応した水道料金の減免について
- ② 水道事業の広域連携について
- ③ 館山配水区受水施設整備事業について

下水道事業

- ① 下水道使用料の改定見送りについて
- ② し尿受入施設整備事業について

イ 水道事業について

a.水道事業概要について

事務局より令和4年度の水道事業について、概要を説明した。

主な説明項目は以下のとおり。

- ① 令和4年度の主な事業について
 - ・ 館山配水区受水施設整備事業
 - ・ 重要施設耐震化事業
 - ・ 上水道施設改良事業
- ② 8月豪雨災害について

b.水道事業令和3年度決算状況について

事務局から令和3年度の水道事業会計の決算状況について、主に、収益的収支、資本的収支及びその補てん状況等を説明した。

【質疑・意見等】

委員：重要施設耐震化事業のなかで説明があった耐震化の進捗状況ですが、米沢が19.3%と全国から比べても、ちょっと進みが遅いように感じたところですが、どういったところが原因なのかをご説明いただきたい。

事務局：一つは、雪の影響で、工期が短くなってしまふ、11月から12月までの間に工事を終了しなければならないことがあります。また、現在行っている工事は、米沢市のメインとなる大きい管ですので、事業費と工期がかかってしまう関係で、どうしても一つの工事区間の延長を短くしなければならないことがあります。米沢市はどちらかといいますと、

配水池、上流側の大きい水をためるタンクに関しては、全国平均を上回ってしまっていて、そういったところの整備をして、上流部の管路の整備にこれから向かおうとしているというような状況があります。

委員： この度、口田沢地内の上屋敷橋の損傷等ありましたが、それも含めて、河川の流木等々の搬出とか、あとは、雑木が生い茂っているというような部分の対応は、水道部では関わりないと思いますが、この後、河川事務所等の話のなかで、何か進んでるような話がありませんでしょうか。

事務局： 直接、水道事業の内容ではないですが、川や河川敷の中にいろんな流木があるような課題というようなことは、度々議会の方でも指摘されています。河川管理者、特に県の方にいろんな要望を出して、不要な樹木であったりするところを伐採するような働きかけをしているように聞いています。

委員： 8月3、4日の線状降水帯等の増水等はありませんでしたが、7月20日過ぎに関地内での県や河川事務所との協議のなかで、伐採したら片付けるよって言った矢先に、そのまま流れてきたところがある。いろんな取水口等に、流木が来ていますので、当然、水道ばかりではないですが、その辺の連携を、速やかに復旧すればそういう被害等がなかったというような感じがしています。

私の方でも、いろんな機会にそれをお話しますけれども、白布簡易水道の取水口に流木等が流れてきたという部分も、一部該当するのかなと思いますので、併せて、管理はどこでして、速やかに撤去する、撤去は何時から何時までにするのか、そういう部分も、計画に入れないと、大災害になるのかな、そういうような気がしましたので、よろしくお願ひしたい。今回の協議の部分ではないんですが、共通認識の中で、あればなと思っております。

事務局： 地元の方から河川管理者との協議というところが多分大事なんだろうと思います。

また、先ほど白布の簡易水道の件がありました。ここに関しては、簡易的な施設ですから、春先の融雪時期、それから台風の時期には、年に1回、2回はあるような事例です。ただ、今回8月の雨に関しては、異常気象という言葉で済まされないかもしれませんが、これからは気象条件に急激な変化はあるものと想定して、対応しなければならないと改めて思ったところです。

議長： このような発言を記録にとどめてもらって、こういう意見があるってことを伝えていただければと思います。他にございませんでしょうか。

ウ 下水道事業について

a. 下水道事業概要について

事務局より下水道事業に係る令和3年度の実施状況及び令和4年度の実施事業について、概要を説明した。

主な説明項目は以下のとおり。

- ① 令和3年度の事業実施状況について
 - ・ 米沢浄水管理センター外処理施設改築工事
 - ・ 公共下水道管渠整備事業
 - ・ 東南置賜2市2町し尿受入施設の整備事業
 - ・ 成島地区農業集落排水処理施設改築事業
- ② 令和4年度の主な実施事業について
 - ・ 米沢浄水管理センター外処理施設改築工事
 - ・ 公共下水道管渠整備事業
 - ・ 東南置賜2市2町し尿受入施設の整備事業

b. 下水道事業令和3年度決算状況について

事務局から令和3年度の下水道事業会計の決算状況について、主に、収益的収支、資本的収支及びその補てん状況等を説明した。また、上下水道事業会計の決算に係る米沢市監査委員の審査意見を紹介した。

【質疑・意見等】

委員：最終的に汚水または沈殿したものを、堆積してケーキ化するわけですが、その部分をそのまま搬出してではなくて、他の地区だと、それを有機肥料的なものに再利用する事例があります。まして、今、肥料の高騰という状況のなかで、し尿を堆肥化して、還元するというようなことや、使いやすいようにして農家でも必要などころに、トラックで取りに来てもらって、無償で出すっていうようなこともあります。米沢市の場合ですと、どうしてもケーキ化ということで、まだ水分がゼロでないということもあり、ちょっと無理があるなと思っていますが、その有効利用の部分をお聞きしたいです。

事務局：米沢市には処理施設がないことから、主に、市外の廃棄物処理場に運んでいるところです。市内では板谷の最終処分場に、市外では上山市に、県外では白石市に運んでいます。あと、県内ではバイオマス関係の処理業者に運んでいまして、その他肥料関係をやってる産業廃棄物処理業者もあるので、そちらにもお願いしてるところです。

令和3年度の実績で大体年間3,679トン、汚泥が発生しております。再資源化として有効利用は年間2,662トン、パーセントで言いますと再資源化率72.3%が実績です。

再資源化の有効利用の用途としては、道路工事でよく使われます法面保護基盤材や農業土壌改良の肥料が年間2,452トンほど有効活用しています。さらに、ペレットタイプの固定燃料化が年間105トンということで、バイオマス発電の燃料材として有効利用しているところです。

委員：コスト的には、どんな感じですか。、

事務局：搬出代と産業廃棄物処理代として赤字です。ただ市内にはそういう施設がなく、なるべく近いところに運んで運搬距離を短くできればそのコストも下がるのかと思っています。また、今、そういう業者さんをいろいろ調べていますがなかなか無い状況です。

委員：再資源化してるという意味では非常によろしいのではないかと思います。また、発言された

内容の改善ができるのであれば、改善するところを始めていただければと思います。

エ 下水道社会資本総合整備計画の事後評価について

事務局より下水道事業に係る下水道社会資本総合整備計画について概要を説明し、事後評価及びそれに対する委員への意見照会を行った。

委員：(4)のところで、耐震率をパーセントに出してますので、多分×100が要るかなと思います。

事務局：その通りです。×100が必要です。

オ その他

事務局より今後のスケジュールを説明した。

カ 全体を通しての質疑・意見等

委員： 非常に見やすい資料となっており、分かりやすく良かった。可能ならば、次第のなかにも資料の何ページといったように紐づけして記載すればさらに良くなると思う。

事務局： さらに良い資料作りについて研究させていただきます。

《終了15:40》

以上